

七飯町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価調書

基本目標1. 子どもを生み育てたいという希望をかなえる

具体的な施策

①子育てを支援する

【施策の概要】

本町では、平成25(2013)年に157人と過去最少の出生数を記録するなど、少子化が進行しています。核家族化の進展や女性の社会進出などに伴う保育ニーズの多様化、地域ぐるみの子育て環境などが失われつつあり、あらゆる面から子育てをサポートする必要があるため、医療・保育体制を拡大・充実させるとともに、子育てにかかわる情報提供・経済的支援などにより、地域における子育て支援の充実を図ります。

【推進施策】

■地域における子育て支援体制等の充実	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果							
				A	B	C	D	E	F	G	平均
子育てサポート事業	新生児がいる世帯及び転入世帯に対して町内の子育て支援情報を掲載した「子育てブック」の配布を行います。親子のふれあいを大切にするため、0歳児と2歳児のいる世帯に保育士と保健師が直接訪問し、絵本の配布、発育状況の相談を行うとともに、子育て支援事業への参加を促し、子育て世代が保育所と併設された子育て支援センターで屋外遊具を使った外遊びや親子での遊びを通じて児童虐待防止の推進を図ります。	絵本配布(0歳162冊、2歳89冊)	・南渡島ファミリーサポートセンターの充実やより一層の他地域との連携を図ってほしい。 ・もつと子育て政策を充実させてほしい。	2	4	3	3	-	-	5	3.4
地域子ども・子育て支援事業	全13事業を実施し、妊娠・出産期の母子保健事業からの切れ目のない支援を行います。	妊婦健康診査事業、放課後児童健全育成事業他(全13事業)									
こんにちは赤ちゃん事業	親の子育て支援を充実するため、こんにちは赤ちゃん事業に取り組みます。	新生児へお米(5kg)を配布162人									
放課後児童健全育成事業	地域における子育て支援体制等の充実を図るため、放課後児童健全育成事業を実施します。	町立学童保育クラブ(7クラブ)、民間学童保育クラブ(3クラブ)									
■子どもの見守り強化に向けたネットワークづくり	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果							
子育て支援センター設置事業	子どもの見守り強化に向けたネットワークづくりのため、子育て支援センターを設置します。	本町子育て支援センター、大中山子育て支援センター、出張ひろば(大沼多目的会館)	・子ども達は地域の財産であり、保育所のイベントで使用する備品等は無ければ地域で貸し出すので声をかけてほしい。 ・地域との連携を密にしてほしい。	2	3	5	3	-	-	5	3.6
■子育て世帯の経済的な負担の軽減	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果							
子ども医療費助成事業	子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、18歳になる年度末まで医療費無料化を実施します。	子ども医療費助成 54,029件	・昔は親や祖父母に対処法を聞いたが、現在は医師に判断を委ねるしかない状況である。お金を気にせず、迷わず医療機関を受診できるのでありがたい。継続維持を求む。	3	3	5	3	-	-	5	3.8
■家庭の養育に恵まれない子どもへの支援の充実	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果							
民生委員児童委員活動の充実	要保護者等の情報を行政や関係機関へ連絡調整を行うなどの相談・援助活動を推進します。	子どもに関する相談・支援件数(延べ) 68件	・特段意見等なし	3	3	3	3	-	-	5	3.4
育英基金による育英資金の貸付	育英基金による育英資金の貸付を行います	基金貸付総額 1,680,000円、基金貸付件数 7件									
【重要業績評価指標(KPI)】			H28実績								
・子育て支援センター利用者数 12,448人(H26)→平成26(2014)年度比を20%増加(H31)			・子育て支援センター利用者数 9,460人								

七飯町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価調書

②妊娠・出産を支援する

【施策の概要】

出産への正しい理解の不足や核家族化の進展、地域コミュニティの希薄化などにより、妊娠・出産に対する不安や悩みを抱える人が増加しています。そのような不安や悩みを解消するために、妊娠・出産から子育てまで、心身ともにサポートし、子どもを産み育てやすい支援体制等の整備を推進していきます。

【推進施策】

■周産期及び小児医療提供体制の充実	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果							
				A	B	C	D	E	F	G	平均
乳幼児健診事業	乳児・1歳6か月児・3歳児に対し健診を実施します。	乳児健診受診率 健診毎に89.7～95.9%	・地域の親同士で育児の相談等も行う事ができるので、受診することは大切である。共働きしている世帯の受診しやすい制度や体制が必要。 ・乳児健診に行きたくなる工夫が必要が必要。	3	4	4	4	-	-	4	3.8
妊婦健診事業	妊婦に健診受診券を交付します。	受診券利用数延1,964件(実272件)									
【重要業績評価指標(KPI)】				H28実績							
・乳幼児健診受診率 健診毎に77.8～89.8%(H26) →健診毎に80～95%(H31)				・乳児健診受診率 健診毎に89.7～95.9%							

七飯町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価調書

基本目標2. 住み続けたいと思える生活環境を整える

具体的な施策

①町民参画と協働の推進

【施策の概要】

町内・地域環境の変化により、行政だけでは解決できない課題が増えています。新しいまちづくりや次世代の育成に取り組んでいくため、行政だけでなく、町民、自治組織、各種団体等と連携・協働し、目標を共有し、互いの特性を活かしながら事業を推進します。

【推進施策】

■住民との協働による地域づくり	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果									
				A	B	C	D	E	F	G	平均		
みんなであつなろう	各町内会の活動や地域における交流活動への支援を行います。	町内会連合会加入団体数 71団体	・町内会に対する助成金を拡充してほしい。										
私らしいボランティアをしてみよう	ボランティア活動の推進やボランティアの活動強化を図ります。	ボランティア活動の推進団体数 21団体		2	4	5	4	-	-	5	4.0		
七飯町活力のあるまちづくり推進事業	七飯町活力のあるまちづくり推進事業の活用を図ります。	活力のあるまちづくり推進事業助成金交付団体数 10件											
■持続可能なまちづくりの推進	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果									
まちなか居住の推進	開発行為などにより、良好な市街地の形成を図るとともに、利便性が高く、多様な世代が快適に居住できるよう、まちなか居住を推進します。	宅地分譲及び集合住宅等に関する開発許可件数 2件	・特段意見等なし。	3	3	5	4	-	-	5	4.0		
■地域を支えるICT利活用の促進	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果									
証明書コンビニ発行サービス事業	証明書のコンビニ交付に係るシステムの構築を推進します。	マイナンバーカード交付延べ人数 2,112人(7.4%) コンビニ交付件数 30件	・便利ではあるが、マイナンバーカードを持参している人が少ない。マイナンバーカードの利便さをもっと周知してほしい。	3	3	5	3	-	-	3	3.4		
【重要業績評価指標(KPI)】			H28実績										
・ボランティア活動の推進団体数 21団体(H26)→25団体(H31)			・ボランティア活動の推進団体数 21団体										

②高齢者の安心を支える医療・福祉サービスの確保

【施策の概要】

高齢者が安心して暮らせるための医療の確保、医療機関への支援、診療科目の充実を図るとともに、地域包括ケアシステムの構築を図ります。

【推進施策】

■高齢者や障がいのある方々を支える仕組みづくり	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果									
				A	B	C	D	E	F	G	平均		
見守り活動と安全対策に取り組もう	見守り活動と安全対策のため、多様なサービス活動の支援に取り組めます。	生きがい活動通所支援事業延べ1,475人、外出支援サービス延べ247人	・所得と介護予防の両面から充実させる必要性がある。 ・介護施設の利用料が高い。										
地域包括ケアシステムの構築	地域包括ケアシステムの構築のため、地域ケア会議の充実を図ります。	地域ケア会議開催数 15回		3	4	5	4	-	-	5	4.2		
持続可能な介護保険の運営	地域密着型サービスの充実や医療機関や介護サービス事業者のネットワークの構築に取り組めます。	要介護・要支援認定者数 1,766人											
【重要業績評価指標(KPI)】			H28実績										
・地域ケア会議開催数 4回(H26)→12回(H31)			・地域ケア会議開催数 15回										

七飯町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価調書

③地域や未来を担う人づくり

【施策の概要】

七飯町の地域特性を踏まえた教育環境づくりの充実に取り組むほか、地域性を活かした特色ある学校づくりを進めます。

【推進施策】

■学校教育の一層の充実	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果							
				A	B	C	D	E	F	G	平均
ふるさと教育事業	ふるさと七飯町へ愛着を持てるような総合的学習を推進します。	町内小中学校全校で実施 児童数1,392人、生徒数746人	<ul style="list-style-type: none"> 現在行っている田植えや就業体験など、もっと広くやってほしい。 青森では小学1年生にりんごの品種の絵のついた下敷きを配布しており、七飯町でも子ども達に「七飯のりんご」を覚えてもらえるにやってほしい。 	2	4	5	4	-	-	4	3.8
■様々な学習機会の提供による社会教育の充実	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果							
スポーツ少年団の育成支援	各種スポーツ少年団の育成を図り、そのスポーツに取り組む人口を増やし、人材育成に関する取組への助成及び機会の拡大を図ります。	少年団登録団体数 10団体、少年団登録団員数 253人	<ul style="list-style-type: none"> 少年団が減少傾向にあり、クラブチームが増加している。技術力は向上しているが、学校単位で考えると物足りなさを感じる。 指導者不足も懸念される。 	3	4	4	4	-	-	5	4.0
中高生海外派遣事業	中高生を姉妹都市アメリカマサチューセッツ州コンコード町へ派遣します。	中高生派遣者 8名									
町民海外交流派遣事業	町民代表を姉妹都市アメリカマサチューセッツ州コンコード町へ派遣します。	町民代表派遣者 3名									
【重要業績評価指標(KPI)】			H28実績								
・中高生海外派遣延人数 144人(H26)→184人(H31)			・中高生海外派遣延人数 160人								

④地域における交通ネットワークや買い物の利便性の確保

【施策の概要】

交通手段に乏しい高齢者や学生等が買い物など生活において不便を感じることもあるため、町民が地域における安心した生活を保つために、公共交通網の整備により移動手段の確保を図り、交通弱者をなくせるよう努めます。

【推進施策】

■地域の実情に応じた交通ネットワークの維持・確保	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果							
				A	B	C	D	E	F	G	平均
生活交通路線維持事業	バス事業者に対する路線系統運行補助を実施します。(2市1町:函館市・北斗市・七飯町)	町内を走るバス路線数 17路線	<ul style="list-style-type: none"> バスを使いたくても利用したい時間がないと自家用車等に頼るしかない。住民のニーズを聞いてほしい。 	3	3	5	4	-	-	3	3.6
ノンステップバス導入事業	ノンステップバスを導入する事業者に対する補助を実施します。(2市1町:函館市・北斗市・七飯町)	ノンステップバス導入率 71%									
【重要業績評価指標(KPI)】			H28実績								
・町内を走るバス路線数 17路線(H26)→17路線(H31)			・町内を走るバス路線数 17路線								

七飯町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価調書

⑤防災・防犯など暮らしの安全・安心の確保

【施策の概要】

建築物や道路など重要インフラの耐災害性の強化に加え、各種災害に対応した警戒避難体制の整備や行政・企業における業務継続体制の強化など、ハードとソフトが一体となった防災・減災対策を計画的に進めます。また、交通安全教室や防犯パトロールを実施し、防犯体制の強化を図ります。

【推進施策】

■適切な役割分担による防災体制の構築	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果								
				A	B	C	D	E	F	G	平均	
備蓄計画整備	災害時における食料・飲料水、生活必需品、資器材、災害用トイレ等の備蓄計画の整備を推進します。	災害避難所用緊急マット6巻、ヒートシートサバイバルランケット70個	・Jアラートによる伝達体制は強化されているものの、伝達後の対応方法を考えてほしい。									
ハザードマップ整備	土砂災害、地震災害のハザードマップを整備し、町民へ配布します。											
防災協定による連携強化	防災関係機関、事業所等との連携強化を図ります。	1社協定(キャタピラーイーストジャパン株式会社北海道支社)		3	3	5	5	-	-	5	4.2	
災害情報収集・伝達体制の強化	Jアラート、エムネット、安否情報システム、緊急速報メール等、災害情報収集・伝達体制の強化を推進します。	Jアラート2回										
■防災教育の推進	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果								
自主防災組織育成強化	町内会への人的支援を行います。		・特段意見等なし。									
防災訓練の実施	町防災訓練の実施、町内会等訓練への支援を行います。	6回		3	3	5	4	-	-	5	4.0	
■地域力の向上による防犯体制づくり	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果								
地域防犯体制強化推進事業	防犯パトロール体制の整備及び啓発などを行います。	該当啓発 2回、防犯教室 3回	・もっと広範囲にやってほしい。 ・学校によって不審者情報等の扱いが違っていて保護者に伝わりにくい。	A	B	C	D	E	F	G	平均	
				2	4	5	3	-	-	3	3.4	
【重要業績評価指標(KPI)】			H28実績									
・防犯教室実施回数 7回(H26)→7回(H31)			・防犯教室実施回数 3回									

七飯町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価調書

基本目標3. 食や観光をはじめとする力強い産業と雇用の場をつくる

具体的な施策

①地域を支える農業の成長産業化

【施策の概要】

本町では、微減ながら人口が減少し、また少子高齢化に伴い、農業従事者の減少が懸念されます。また、農業の就業者は高齢者が大半を占めていることから、若い世代の新規就農者の確保・育成に取り組むとともに、農業を続けていくことができるよう支援を行い、町内の農業振興を図ります。

【推進施策】

■担い手の経営体質の強化等による持続可能な農業づくりと雇用の場の拡	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果									
				A	B	C	D	E	F	G	平均		
良質な米・野菜・花き・果樹の振興	消費者ニーズに応じた安全・安心で良質な農産物を生産し、農業所得の確保・向上を目指した地域農業を振興し推進します。	農業粗生産額 58億円	・町の基幹産業である農業への補助金等を拡充してほしい。										
法人化(集落営農)・コントラ組織の育成	農家戸数の減少や農業従事者の高齢化などから、地域農業の維持と経営安定化のための法人化(集落営農)、農作業の効率化や農業機械の共同利用による維持経費の削減などにより生産性の高い営農の実現と経営の安定化のため、コントラ組織の育成を推進します。	農業法人 16件		2	4	5	5	-	-	5	4.2		
広域的真空予冷施設建設への支援	老朽化した真空予冷施設の建設に対し支援し、野菜の安定供給と生産体制を強化することにより、安定した農業経営を推進します。	新野菜広域流通施設用地測量、用地造成設計、用地購入											
■安定的な食料供給を支える農業生産基盤の整備と魅力ある農村づくり	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果									
クリーン農業推進対策事業	クリーン農業推進のため、マリーゴールドの定着化によりセンチュウ駆除を実施します。	マリーゴールド作付け面積 243.5反	・特段意見等なし。										
振興作物定着促進事業	農業構造改革促進を目的に、振興作物の定着・経営規模の拡大を図ります。	水田畦塗り機 1機		3	4	5	4	-	-	5	4.2		
【重要業績評価指標(KPI)】			H28実績										
・認定農家者数 199人(H26)→205人(H31)			・認定農業者数 194人										

七飯町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価調書

②地域資源を活かした食関連産業の振興

【施策の概要】

地域資源を活かした食関連産業の振興を図るため、食関連産業の高付加価値化や販路拡大などに取り組みます。

【推進施策】

■高付加価値を生み出す6次産業化と道の駅の活用	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果							
				A	B	C	D	E	F	G	平均
道の駅ななえ(仮称)基本計画策定事業	地域経済活性化のため、地域の基幹産業である農業と商業、工業等との連携「農商工連携」を強化し、6次産業化を推進し、町の魅力を広く発信するため、情報・交流拠点としての道の駅の活用を図ります。 また、町の歴史・文化を利用者及び地域住民に広く継承するなど、各種導入機能の充実強化を目指します。	-	・特段意見等なし。	3	3	5	5	-	-	5	4.2
■食関連産業の高付加価値化や販路拡大	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果							
食関連産業の高付加価値化	食品製造業における社会ニーズ等に対応した製品開発や高付加価値化に必要な技術力、マーケティング力の向上を推進します。	町内協力企業数 9社、 新商品考案数 14品	・食品関連の高付加価値は、町のPRや観光振興にも繋がるため推進してほしい。	3	3	5	4	-	-	5	4.0
食関連産業の販路拡大	道内食品生産者と道外食品メーカーとのマッチング等を通じて販路拡大を支援します。	-									
【重要業績評価指標(KPI)】			H28実績								
・北海道産品取引商談会への参加社数 2社(H26)→3社(H31)			・北海道産品取引商談会への参加者数 不明								

③観光産業の振興

【施策の概要】

年間200万人の入込数がある「大沼国定公園」は、日本新三景の一つでもあり、今後も豊かな自然を活かした観光産業の振興を図るとともに、近隣市町と連携した広域観光や農業体験などを推進し、誘客と滞在期間の延長を目指します。

【推進施策】

■自然環境など地域の資源を生かした滞在型の観光地づくり	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果							
				A	B	C	D	E	F	G	平均
日本新三景選定100周年記念事業	北海道新幹線開業と連動したイベント等を実施するための実行委員会を組織し、調査・調整等に係る経費を負担します。	-	・特段意見等なし。	3	3	5	5	-	-	5	4.2
■国内外への効果的な誘客活動による旅行市場の拡大	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果							
観光ガイドマップ作成事業	本町を訪れる観光客への情報提供が大きな課題となっているため、乳畜製品をはじめとした優れた製品や魅力的な飲食店等の情報を集約したマップの充実化や多言語化を図ることにより、観光入込数増加による経済効果の波及促進を図るとともに、町内への滞在・宿泊を促進します。	ICTを活用した南北海道版DMO広域推進事業委託業務の中で作成									

七飯町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価調書

観光ポスター作成事業	本町は道南唯一の国定公園である大沼国定公園を有し、国内外から多くの観光客が訪れていますが「七飯町」自体の知名度は低い ため、本町の有する雄大な自然をPRするため、新幹線沿線駅所在地をはじめとした各地の企業と連携した観光誘客施策等に用いるツールとして、観光ポスターの増刷を行います。	ICTを活用した南北海道版DMO広域推進事業委託業務の中で作成										
観光ガイド整備事業	北海道新幹線開業に向けて、自然豊かな大沼国定公園周辺において、特に外国人観光客から需要のある自然散策と新幹線PRを取り入れたネイチャーガイドを主体とした観光ガイドの整備・育成を行うことで、インバウンド観光に対応するとともに、新たな雇用の創出を図ります。	ICTを活用した南北海道版DMO広域推進事業委託業務の中で作成										
観光プロモーション番組制作事業	近年急激な増加を続ける外国人観光客の更なる誘客を図るため、主にアジア圏を中心とした北海道観光情報番組の制作を行い、町の体験観光等滞在につながるコンテンツのPRを行うことで外国人観光客の入込数増はもとより、宿泊客数の増加を図ります。	-	<ul style="list-style-type: none"> ・観光パンフレットやポスターの作成により町PRに繋がり、観光客増加となった。 ・外国人観光客が多くなっている中で、観光ガイドがいることにより案内対応がスムーズであった。 ・新幹線開業により観光客が増加したと実感している。今後も開業効果を持続させるための工夫をしてほしい。 	3	4	5	5	-	-	5	4.4	
観光パンフレット作成事業	平成28年3月26日の北海道新幹線開業を控え、従前、道南の玄関口であった函館空港や函館駅から新函館北斗駅へとシフトすることにより、本町への観光誘客の優位性が増大することから、主として発地用の誘客ツールとして観光パンフレットを刷新し、観光誘客促進を図ります。	ICTを活用した南北海道版DMO広域推進事業委託業務の中で作成										
多言語Webページ制作事業	近年急激な増加を続ける外国人観光客の更なる誘客を図るため、主にアジア圏を中心としたWebページの多言語化を行い、外国人個人観光客を誘客し滞在させる仕組みをつくることで、町内への宿泊促進を図ります。	外国人宿泊客数 41,837人										
ICTを活用した訪日外国人対応DMO構築推進事業	多様な人材を活用した観光地域づくりを行い、地域自らが価値を生み出し、地域自らが来訪者を集める自立したDMO(観光地域づくり推進組織)の確立、地方における国際化の推進、活火山を抱える観光地の防災対策等、教育、防災、安心、安全の観光地づくりの相乗効果を図ります。	-										
ICTを活用した南北海道版DMO広域観光推進事業	鹿部町、森町と連携し、事業効果の広域化を図るとともに、1次・2次・3次産業に携わる民間事業者との異業種間連携により事業効果を多様化・加速化し、各地域における観光振興、過疎対策、農業振興、雇用対策といった複数の政策課題の解決を図ります。	広域観光魅力創造事業、広報・誘致事業、人材育成事業、木育環境教育実践事業										

七飯町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価調書

【重要業績評価指標(KPI)】	H28実績
・観光入込客数 1,954,312人(H26)→平成26(2014)年度比を20%増加(H31) ・宿泊客数 113,000人(H26)→平成26(2014)年度比を20%増加(H31) ・外国人宿泊客数 12,064人(H26)→平成26(2014)年度比を20%増加(H31)	・観光入込客数 1,998,260人 ・宿泊客数 122,297人 ・外国人宿泊客数 41,837人

④中小・小規模企業の競争力の強化

【施策の概要】

中小・小規模企業の競争力の強化を図るため、女性や若者の創業の促進や、町外のプロフェッショナル人材と町内中小企業等との間による「お試し就業」などにより、町内企業の競争力強化や人材定着を図ります。

【推進施策】

■持続可能な地域経済の担い手となる中小・小規模企業への支援強化	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果							
				A	B	C	D	E	F	G	平均
商工業経営安定支援事業	商工業経営安定資金融資保証金補給及び利子補給の支援を実施します。	保証料補給金20件、利子補給金131件	・中小企業への支援強化をしてほしい。	2	3	5	5	-	-	5	4.0
■女性や若者の創業と企業の新陳代謝の促進	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果							
創業支援事業	地域の創業者や「将来起業する者」などの潜在的な創業者に対する育成・支援を行うことにより、開業率の向上と創業数の増加を図り効率的に起業家の成長を促進し、地域経済の活性化を図ります。	応募者 0件	・起業者が利用しやすいような制度へ見直してほしい。	2	3	5	3	-	-	5	3.6
【重要業績評価指標(KPI)】				H28実績							
・創業支援事業を活用し、創業した起業者件数 0件(H26)→1件(H31)				・創業支援事業を活用し、創業した起業者件数 0件							

⑤七飯町の強みを活かした企業等の誘致

【施策の概要】

本町の豊かな自然などの強みを活かした企業誘致や、既存企業への奨励、また、本町へ移住する起業家に対して支援を行うことで、雇用機会を創出するとともに、積極的な情報提供を行い、地元での就労と雇用の促進を図ります。

【推進施策】

■地域間の連携による企業誘致活動の展開	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果							
				A	B	C	D	E	F	G	平均
北海道3自治体共催ビジネスセミナー事業	農産物・水などの資源に加え、北海道新幹線開業による立地条件の良さをPRし、首都圏からの起業立地促進を図ります。	-	・企業誘致は、就労人口の増加に繋がるため、継続した誘致活動が必要である。	3	3	5	4	-	-	5	4.0
企業誘致推進事業	函館市・北斗市と連携した企業誘致活動を行います。	中島3企業、緑町1企業									
【重要業績評価指標(KPI)】				H28実績							
・企業立地件数 0件(H26)→2件(H31)				・企業立地件数 4件(うち3件建設中)							

七飯町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価調書

⑥市場規模やニーズの変化などに応じた産業の創造

【施策の概要】

今後の成長が期待される「健康長寿産業」の振興に向け、産学官が連携しながら、企業誘致や参入促進、機器開発等を推進するとともに、健康志向の高まりを背景とした新たなニーズに対応するため、運動・栄養指導に地域資源を活かしたサービスを付加するなど、ヘルスケアサービスの普及と高度化を図ります。

【推進施策】

■健康長寿社会の実現に向けた産業育成	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果							
				A	B	C	D	E	F	G	平均
健康づくり支援事業	高齢者の健康寿命を延伸するため、「七飯町健康プラン21」を推進します。	受診クーポン830通、受診勧奨はがき721通(40歳、60歳)	・膵臓がんによる死亡者も増加傾向にあるため、がん検診受診率向上に繋がる取組をしてほしい。	3	4	5	4	-	-	5	4.2
【重要業績評価指標(KPI)】				H28実績							
・特定健診受診率 15.6%(H26)→25.0%(H31)				・特定健診受診率 18.7%							

⑦多様な人材の活躍推進、担い手対策

【施策の概要】

女性の多様な選択の中で生じる、子育てや介護、起業、就業といった幅広い課題に対応するため、相談対応の仕組みづくりや様々な分野で支援・協働する人材のネットワーク化などを推進するとともに、高齢者や障がいのある方々の働きやすい雇用・就業の機会確保や、多様なスキル、経験の活用などを図ります。

【推進施策】

■女性の力が発揮できる働きやすい環境の整備	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果							
				A	B	C	D	E	F	G	平均
男女共同参画に対する意識の高揚	企業・各種団体等に対して、情報提供等を行い、意識啓発を図るとともに、男女共同参画の条件整備に努めます。	七飯町男女平等参画審議会 1回	・男女共同参画の形成には、女性が働ける環境作りがより一層必要である。	3	3	5	4	-	-	5	4.0
【重要業績評価指標(KPI)】				H28実績							
・七飯町シルバー人材センター就業延人数 14,241人(H26)→15,000人(H31)				・七飯町シルバー人材センター就業延人数 257人							

■地域や産業の担い手としての活躍の場づくり	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果							
				A	B	C	D	E	F	G	平均
高齢者労働力活用事業	北海道シルバー人材センター及び七飯町シルバー人材センターを支援し、高齢者の労働力の活用を図ります。	延べ就業者人数 12,279人	高齢者人口は今後も増加すると推測されるため、就労の場の確保と支援を図ってほしい。	3	3	5	3	-	-	5	3.8
障がい者の自立機会の拡大	精神障がい者通所授産施設の運営及び施設での交流会等を開催します。また、障がい者団体や障がい者施設等への協力や支援を行います。	通所授産施設利用者数 257人									

七飯町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価調書

基本目標4. 七飯町らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す

具体的な施策

①交流人口の拡大

【施策の概要】

観光客の誘客はもとより、都市部との交流促進や教育旅行、スポーツ大会・合宿、国際会議等の誘致など、特色ある自然等の地域資源を活かした幅広い視点で誘客促進を図ります。

【推進施策】

■地域特性を踏まえた効果的な誘客の促進	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果							
				A	B	C	D	E	F	G	平均
交流人口増加事業	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴う波及効果を、本町の経済活性化や地域振興につなげるため、合宿誘致を促進するとともに、外国人観光客の受け入れ体制の整備などを推進します。	実業団陸上合宿 5チーム 延べ805人	・スポーツ合宿誘致を増加させるためのホテル誘致をができればいい。	3	4	5	4	-	-	4	4.0
【重要業績評価指標(KPI)】			H28実績								
・宿泊客延数 95,273人(H26)→100,000人(H31)			・宿泊客延数 122,297人								

②居住環境の魅力を活かした移住・定住の促進

【施策の概要】

豊かな自然など、町の魅力や優位性のPRを推進し、町外から人を呼び込み、移住・定住してもらうための受け入れ体制の整備を図ります。

【推進施策】

■居住環境の魅力を活かした移住・定住の促進	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果							
				A	B	C	D	E	F	G	平均
移住・定住の促進事業	北海道移住促進協議会が開催する「北海道暮らしフェア」へ参加し、道外住民のご質問・ご相談に応じ、本町への移住・定住を促進します。	転入者数 1,288人	・特段意見等なし。	3	3	5	5	-	-	5	4.2
■七飯町の「しごと」の発信による若年層など現役世代の人材確保・育成	事業の概要	H28実績	施策の効果についての意見等	委員評価委結果							
U・Iターン人材の誘致推進事業	インターネットを活用した求人情報などの提供や首都圏における合同企業説明会の開催、都市部の大学等の卒業生が七飯町に就業しやすい環境づくりを進めるなど、U・Iターン人材の誘致に取り組みます。	-	・若年層や現役世代を増加させる移住政策を推進してほしい。	2	4	5	5	-	-	5	4.2
「地域おこし協力隊制度」の積極的な活用	「地域おこし協力隊制度」の積極的な活用と協力隊員の定住化の促進など、地域づくりを担う人材の確保・育成を図ります。	地域おこし協力隊 3名中1名退任、退任後は継続して町内に定住									
【重要業績評価指標(KPI)】			H28実績								
・道外からの転入者数 141人(H26)→平成26(2014)年度比を20%増加(H31)			・道外からの転入者数 215人								